

全国の汚水処理人口普及率 85.7%に（平成 21 年度末）



農林水産省、国土交通省、環境省は、平成 21 年度末の全国の汚水処理人口普及状況を取りまとめました。

平成 21 年度末の全国の汚水処理施設の処理人口は、平成 20 年度末から 116 万人増加し、1 億 890 万人になりました。これを総人口に対する割合でみた汚水処理人口普及率は、85.7%となり、平成 20 年度の 84.8%より 0.9%増加しました。

しかし、我が国における汚水処理人口普及状況は、大都市と中小市町村で大きな格差があり、特に人口 5 万人未満の市町村の汚水処理人口普及率は 71.0%にとどまっている状況にあります。

処理施設別処理人口の内訳としては、下水道が 9,360 万人（平成 20 年度末では 9,241 万人）、農業集落排水施設等によるものが 379 万人（平成 20 年度末では 374 万人）、浄化槽によるものが 1,124 万人（平成 20 年度末では 1,127 万人）、コミュニティ・プラントによるものが 28 万人（平成 20 年度末では 31 万人）となっています。

当社では排水の他にも、様々な種類の水質分析についての長年の経験と実績があります。お気軽にご相談ください。

資料 2010 年 8 月 27 日付 環境省 報道発表資料

化学分析箇所 大塚卓也